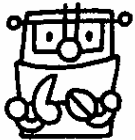




小 / 理科 / 6年 / 物質とエネルギー /
物の燃え方と空気 / 理解シート

ろうそくは燃えるのに、なぜろうに火がつかないの

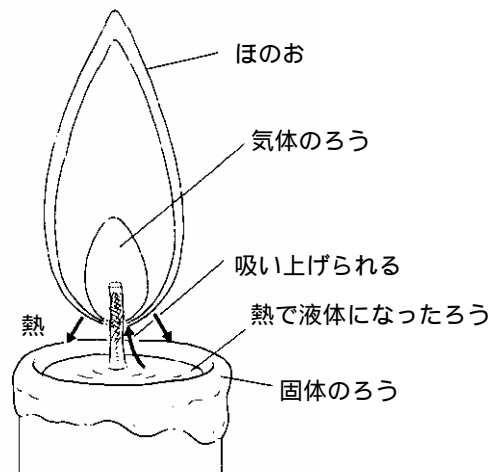


燃えるのは、ろうの気体なので、すぐ気体になりにく
いろいろのかたまりには、火がつかないのさ。

ろうそくが燃えるのは、ろうの気体が燃えている

ろうそくが燃えるのは、火で熱せられたろうが液体になり、しんの先から少しず
つ蒸発し、そのろうの気体が燃えるからで
す。燃えているほのおの熱で、しんの近く
のろうがとけて、液体になります。しんの
先では、ろうが次々と蒸発しているため、
液体のろうは、しんに吸い上げられていき
ます。これがくり返されて、ろうそくは燃
え続けます。

ろうそくの下にたれたろうのかたまりに、
マッチの火を近づけても、ろうは少しとけ
るだけで燃え出しません。マッチの火の熱
では、ろうは気体にまでならないからです。



<ろうそくの燃えるしくみ>

ろうを気体になると、しんがなくても燃える

ろうの小さいかたまりを、空きかんやビーカーに入れて火で熱すると、ろうはと
けて液体になります。少し熱し続けると、ろうの気体のにおいがし、マッチの火を
近づけると、ろうが入った容器の上のほうに火がつきます。熱でろうの気体が空気
中に出てきて、それが燃えているのがわかります。強い火で熱し続けると、ろうの
気体が空気中に広がり、それに火がつくと危険なので、気をつけましょう。

もっと知りたい人へ：「ろうそくのほのおのしくみについて教えて」も見てみよう。